



▲親子でゴールを目指す参加者たち

ゴール目指して力走！
第50回このぼりミニマラソン大会

5/17

5月17日、第50回このぼりミニマラソン大会（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が川上公園運動広場で開催されました。昭和50年に子どもの健全育成や市民の健康増進を目的に始まった本大会は、今回で節目となる50回目。今年は約250人が参加し、未就学児による短距離走で幕を開け、続いて小中学生・親子ペアによる各部門の競技が行われました。

会場には色鮮やかなこのぼりが掲げられ、参加者たちは汗を流しながらこのぼりの下を通り抜け、ゴールを目指して一杯走っていました。



▲堂々と発表をする生徒

未来を担う若者たちの発表
第43回登別市少年の主張大会

5/23

5月23日、第43回登別市少年の主張大会（登別ライオンズクラブ、登別中央ライオンズクラブ、登別市教育委員会主催）が市民会館で開催されました。

当日は、市内全5中学校と登別明日中等教育学校前期課程の生徒計9人が、現代社会への意見や将来への夢、日頃感じていることなどを力強く発表したほか、札幌市白石区の中学生2人による特別発表も行われました。

来場者は、それぞれの思いを自分の言葉で堂々と伝えていく発表に熱心に耳を傾け、発表後には大きな拍手を送っていました。

「湯鬼神」により夜空を彩る業火
地獄の谷の鬼花火

6/1

6月1日、地獄谷展望台で今季初の『地獄の谷の鬼花火』を開催しました。

開催初日とあって多くの観光客が詰めかける中、太鼓とドラが鳴り響く音とともに暗闇から現れた湯鬼神たち。幸せを願う人々の厄を持ち去りするために打ち上げる鬼花火伝説の語り継がれる『湯鬼神』たちが、噴火のごとく迫力たっぷりの鬼花火を夜空に放ちました。

『地獄の谷の鬼花火』は7月2日～30日の毎週木曜日、9月毎週木曜日の20時から開催します。

※入場料中学生以上500円。



▲勇ましく手筒花火を掲げる湯鬼神たち

登別市出身プロサッカー選手
ふるさと大使・観光大使委嘱状交付式

6/15

6月15日、市は、新たに登別市ふるさと大使（通称：鬼大使）と観光大使に就任するプロサッカー選手の榎引一紀さん（FC今治所属）に委嘱状を交付しました。

榎引さんは登別市出身で室蘭大谷高等学校（現・北海道大谷室蘭高等学校）から北海道コンサドーレ札幌などを経て、現在もプロサッカー選手として活躍されています。

ふるさと大使・観光大使は本市にまつわる情報発信を担っており、同氏も「登別市には多くの魅力があると感じている。SNSを通じて魅力の発信に意欲的に取り組みたい」と今後の意気込みを熱く語りました。



▲委嘱状を受け取った榎引一紀選手